

なべかけ

鍋掛公民館 家庭教育支援事業 第9号



【鍋掛公民館】
0287-60-1164

親は子供に何を伝えるのか。

これは子育てをしていくうえで核なるものだと思います。

人それぞれに思いがあると思いますし、伝えるべきことはたくさんあると思いますが今回は『やさしさ』と『決断力』について考えてみたいと思います。



◎やさしさ◎

やさしさは感覚的なもので結果が明確に見えるものではありません。

やさしさは教えられて覚えるものではなく、見て覚え、体験（優しくされて）して身につけていくものと言えるでしょう。

行動や言動にやさしさがあれば人間関係は良好なものとなるでしょうし、日々の人間関係が良好であることはとてもいい財産であり人生を豊かにして幸せなものにすることでしょう。

わたしたち大人が「やさしい」をたくさん見せてあげること。

子どもがやさしい行動をしたときに褒めてあげ、それが「やさしさ」だと気づかせてあげることがとても重要です。

◎決断力◎

決断力を身に着けるには実践が必要です。

健全な判断力を持って決断できるようになるためには、体験が欠かせないということになります。

子どもの頃から

- ・自ら決める
- ・自ら決めたことには責任を持つ



という行為をどれだけたくさん体験するかにかかっていると言っても過言ではないと思います。

周りの大人が決めたものに従わせるのではなく、自ら決断をする機会をどれだけ多く設定してあげられるのか（子どもの頃たくさん決断をしている子は大人になって大成しやすいといわれています）、両親をはじめとした周りの大人の役割はとても大きいものです。

人生は決断の繰り返し。

「決断力」は生きていく上では欠くことのできないとても重要なものと言えます。

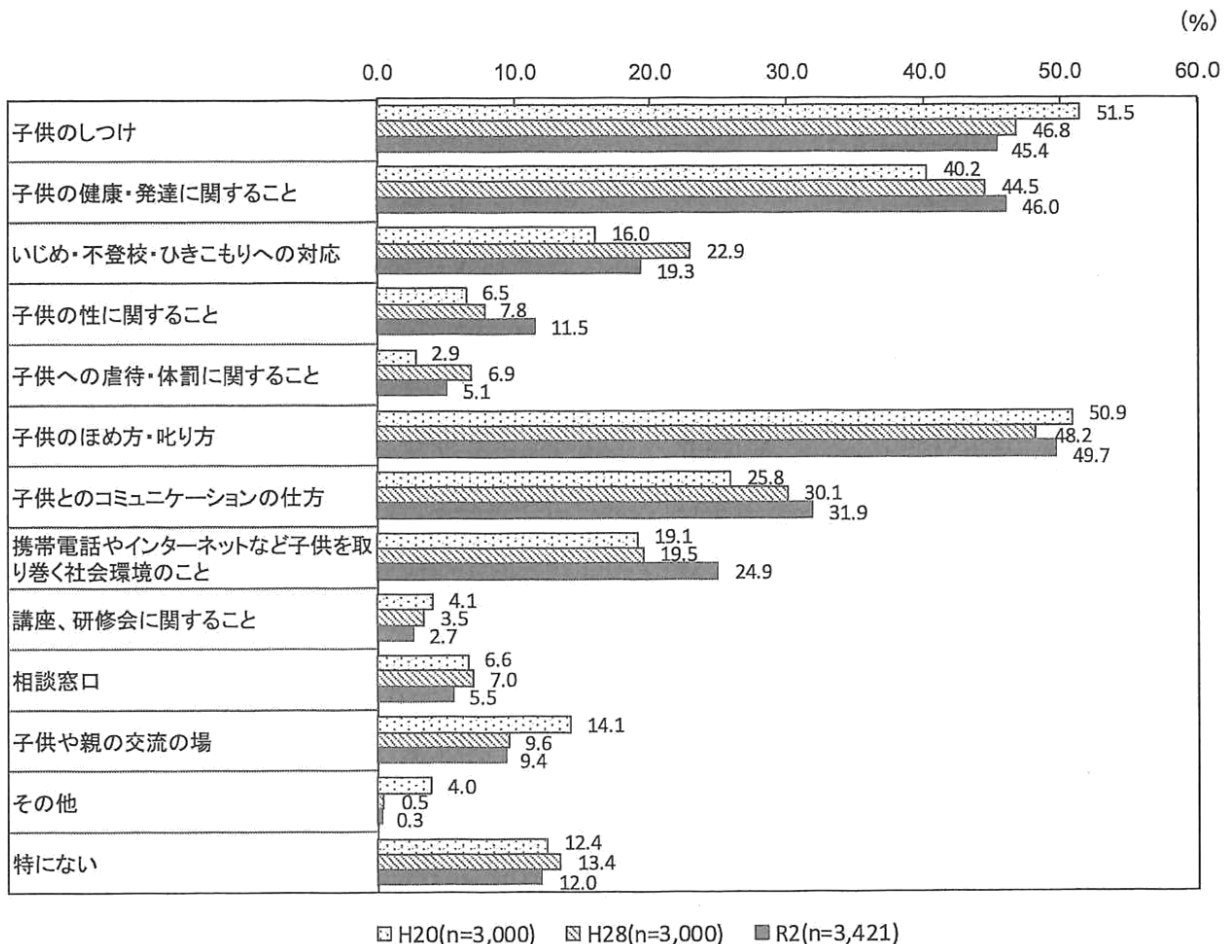
データでみる家庭教育

家庭教育に関するデータを取り上げます。
「今」がわかり、悩みはみんな一緒ということが見えてきます。

令和2年度文部科学省委託調査により、株式会社インテージリサーチが子育ての悩みや実態、子育てを通じた地域とのつながり、家庭教育に関する保護者の意識を把握し、社会の変化に対応した家庭教育支援の充実のための企画立案に資することを目的として調査研究を行いまとめたものから抜粋しています。

家庭教育について知りたい情報

- 家庭教育について知りたい情報は、「子供のほめ方・叱り方」が49.7%と最も高く、次いで「子供の健康・発達に関すること」が46.0%、「子供のしつけ」が45.4%となっている。
- 平成28年度調査と比較すると、「携帯電話やインターネットなど子供を取り巻く社会環境のこと」が5.4ポイント高くなっている。



最終号は少しかたい内容となりましたが…。

悩んでいるのはひとりではありません。同じ悩みを抱えた保護者はたくさんいます。「よかった。私だけではなかった。」と気付くことができるように…。令和3年度の《家庭教育支援事業》では、みなさんと談笑しながらお互いの不安が取り除ける、そんな事業を考えていきたいと思っています。